

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 51 号

第 51 週(12月15日～12月21日)

発行年月日:平成20年(2008年)12月25日

発行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

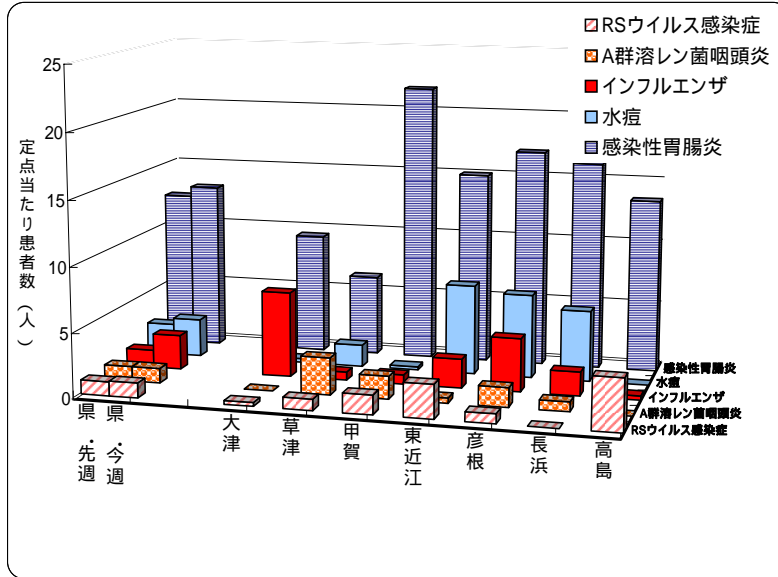
**インフルエンザの発生は、全国と同様に増加！**  
**RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、水痘の発生は増加傾向**

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりさらに多くなっています。今週増加した疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)および突発性発しんで、減少した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、手足口病等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況については、咽頭結膜熱(プール熱)、感染性胃腸炎および水痘で警報発生基準値を、水痘および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)で注意報発生基準値を超えている保健所管内があります(詳細については、滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で5名の届出がありました。

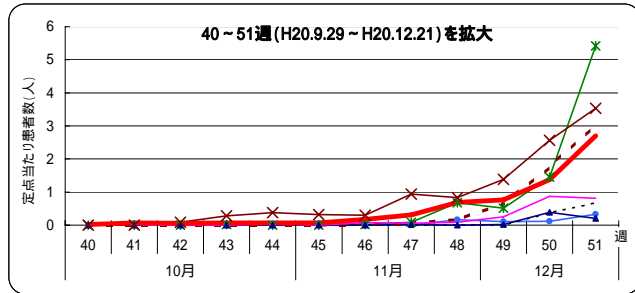
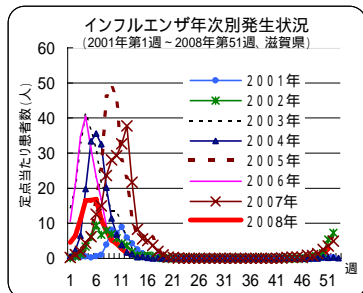
#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第51週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、RSウイルス感染症の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は甲賀および高島で、インフルエンザは大津、東近江および長浜で急増しています。水痘は東近江、彦根および長浜で多くなっています。

#### インフルエンザの年次別発生状況(2001年第1～2008年第51週、H13.1.1～H20.12.21)



インフルエンザの年次別発生状況はグラフに示すとおりで、滋賀県の第51週の定点当たり患者数は2.70で先週の倍増となっています。全国の定点当たり患者数は4.63で、北海道、福井県、山口県、山梨県、兵庫県の順に多くなっています。今後の流行に備えて、手洗いおよびうがいの励行、マスクをする、人混みにはなるべく出かけない、ワクチン接種等予防に対する十分な注意が必要です。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (51週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (51週)	全国 (51週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	5	278	27,104	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	3	314	<sup>(*)2</sup> 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	0	53	4,292	55	4,586
	パラチフス	0	0	27	1	22
四類感染症	E型肝炎	0	0	42	1	54
	A型肝炎	0	3	169	1	154
	コクシジオイデス症	0	1	2	0	3
	デング熱	0	2	102	1	89
	マラリア	0	1	54	1	52
	レジオネラ症	0	10	862	8	655
五類感染症	アメーバ赤痢	0	10	839	15	781
	ウイルス性肝炎	0	5	229	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	146	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	110	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	11	1,479	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	74	1	56
	梅毒	0	4	808	2	714
	破傷風	0	5	118	0	88
	急性脳炎	0	1	178	2	216
	風しん <sup>(*)3</sup>	0	2	299	-	-
	麻しん <sup>(*)3</sup>	0	39	10,986	-	-

\*1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

\*3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第51週(12/15~12/21) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 292例	三類感染症: 細菌性赤痢 6例	腸管出血性大腸菌感染症 28例	腸チフス 1例	パラチフス 1例	四類感染症: E型肝炎 1例	A型肝炎 1例	四類感染症: つつが虫病 22例	デング熱 1例	マラリア 1例	レジオネラ症 7例	レプトスピラ症 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 12例	ジアルジア症 1例	梅毒 5例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 18例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例	パンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例	ウイルス性肝炎 2例	風しん 2例	麻しん 12例
-------------	----------------	-----------------	-----------------	---------	----------	----------------	---------	------------------	---------	---------	-----------	------------	-------------------	-----------	-------	-----------------------	------------------	--------------------	------------	--------	---------

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第46~51週、11/10~12/21)

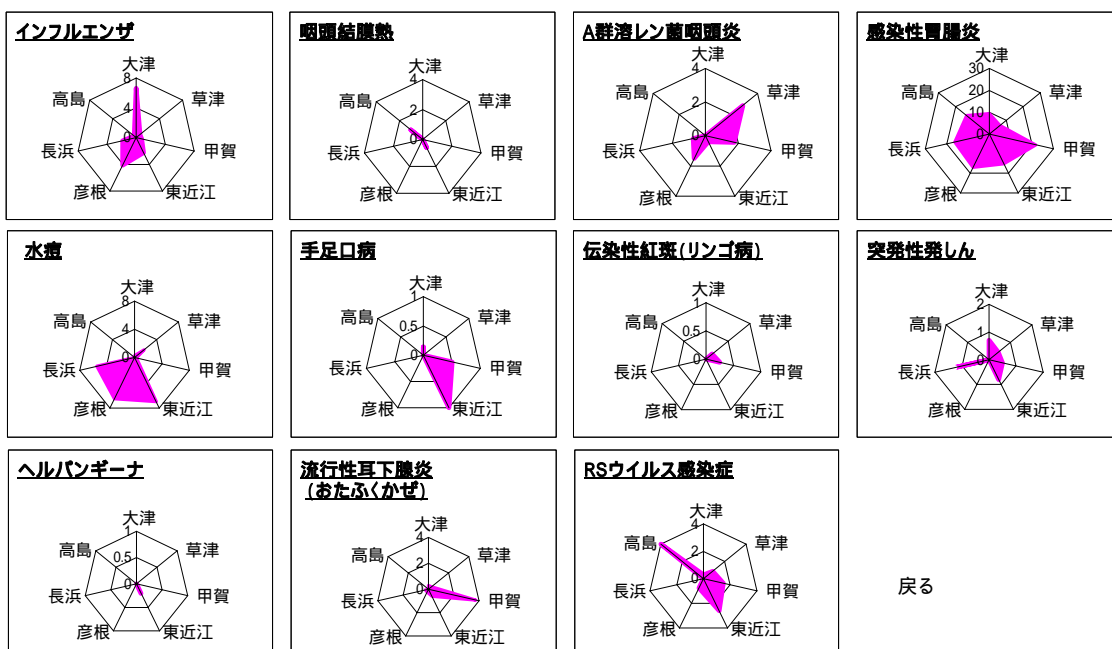
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	46週		47週		48週		49週		50週		51週	
	11/10~	11/17~	11/24~	(12/1~)	(12/8~)	(12/15~)	47	48	49	50	51	
インフルエンザ	0.17	0.31	0.69	0.76	1.37	2.70						
RSウイルス感染症	0.55	0.85	0.58	0.88	1.09	1.15						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.15	0.21	0.24	0.33	0.27	0.15						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.48	1.30	1.15	1.12	1.15	1.15						
感染性胃腸炎	5.76	8.55	8.91	11.15	12.30	13.09						
水痘	1.24	0.91	1.79	1.97	2.45	2.97						
手足口病	0.36	0.76	0.33	0.36	0.27	0.24						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.06	0.06	0.06	0.03	0.06						
突発性発しん	0.39	0.36	0.24	0.48	0.27	0.58						
百日咳	0	0.03	0	0.03	0	0						
ヘルパンギーナ	0.15	0.03	0	0.06	0.33	0.03						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.97	1.09	0.97	0.67	0.82	0.73						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	1.63	0.75	0.38	0.38	0.25	0						
細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0.14	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.43	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.71	1.29	0.43	0.14	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第51週、12/15～12/21)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	2.70	6.64	0.64	0.71	2.25	4.14	1.86	0.33	
RSウイルス感染症	1.15	0.29	0.86	1.50	2.60	0.75	0	4.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.15	0	0	0	0.60	0	0	1.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.15	0	2.86	1.75	0.40	1.50	0.75	0	
感染性胃腸炎	13.09	9.43	6.29	21.75	15.00	17.00	16.25	13.50	
水痘	2.97	0.29	1.71	0.25	7.00	6.50	5.50	0	
手足口病	0.24	0.14	0	0.50	1.00	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0.14	0.25	0	0	0	0	
突発性発しん	0.58	0.71	0.43	0.50	0.80	0	1.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.73	0.29	0.29	3.75	0.60	0.25	0.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

インフルエンザ-----県全体では先週のほぼ倍増となり、定点当たり患者数は2.70となっています。保健所管内別では、長浜および高島以外で先週より増加しています。

咽頭結膜熱-----高島では先週より減少していますが、定点当たり患者数は1.00で警報終息基準値(0.10)を超えています。

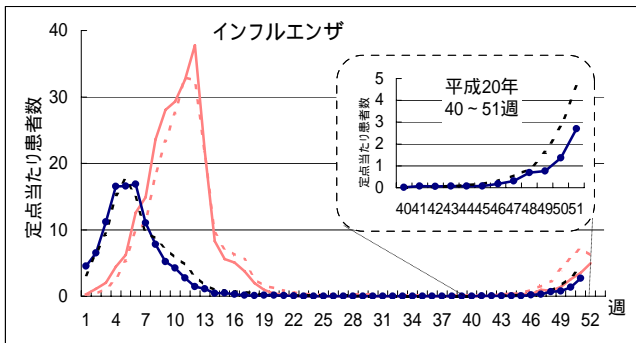
滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況(平成20年第51週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
咽頭結膜熱(プール熱)											
定点当たり患者数(人)	0.15	0	0	0	0.60	0	0	1.00	2.00	0.10	-
感染性胃腸炎											
定点当たり患者数(人)	13.09	9.43	6.29	21.75	15.00	17.00	16.25	13.50	20.00	12.00	-
水痘											
定点当たり患者数(人)	2.97	0.29	1.71	0.25	7.00	6.50	5.50	0	7.00	4.00	4.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)											
定点当たり患者数(人)	0.73	0.29	0.29	3.75	0.60	0.25	0.25	0	6.00	2.00	3.00

\* 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

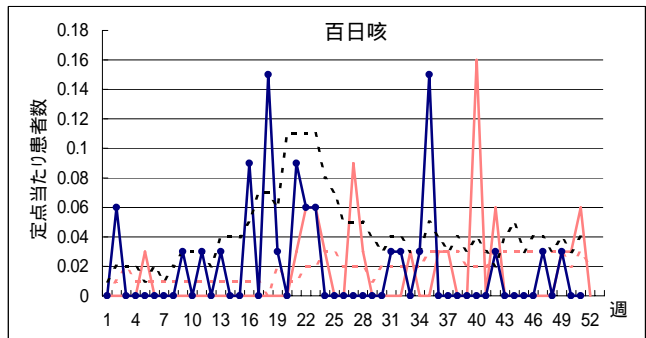
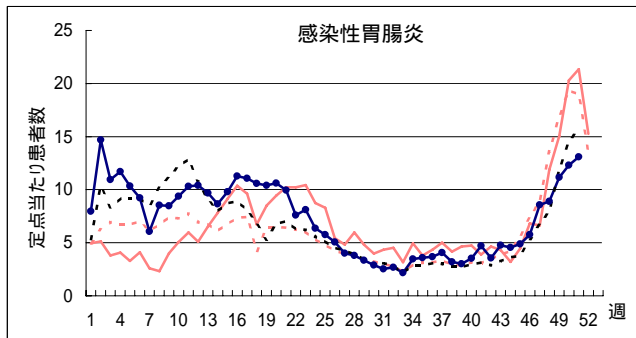
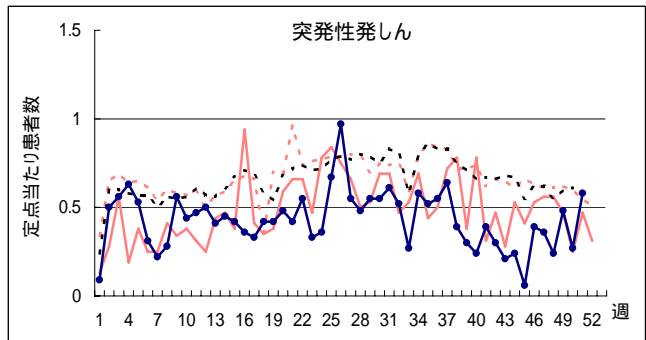
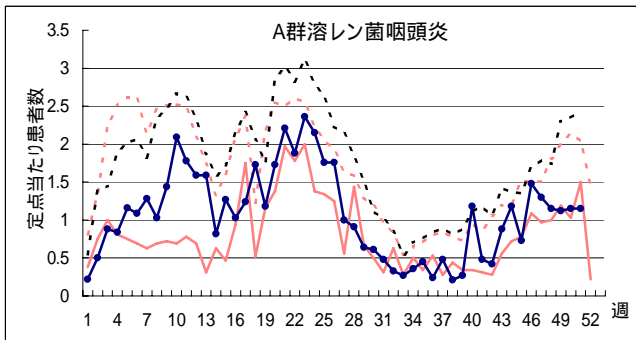
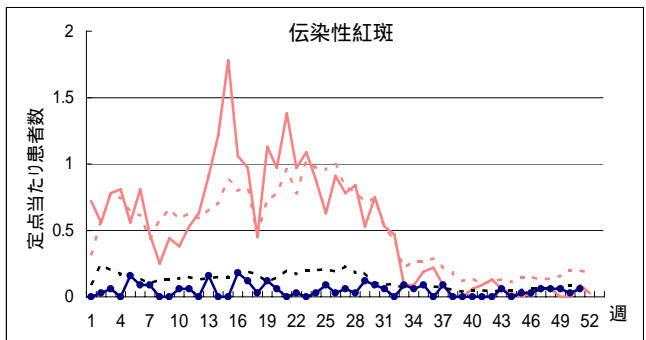
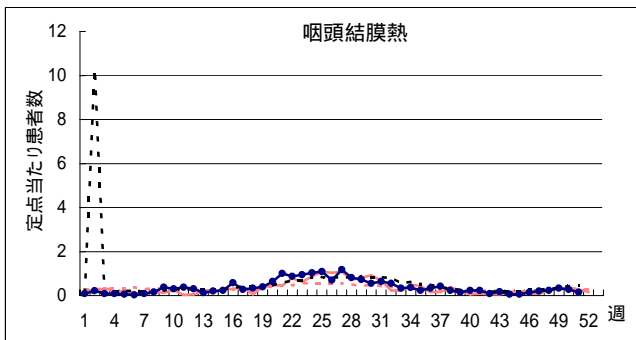
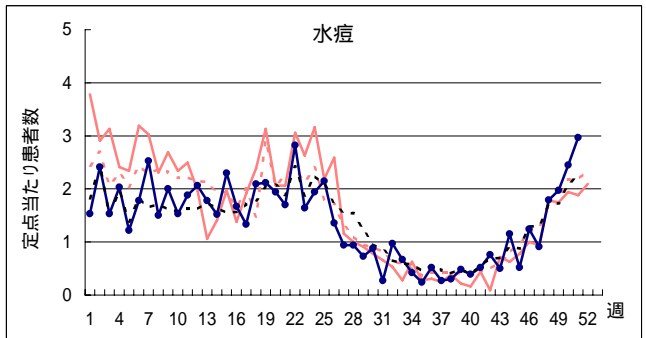
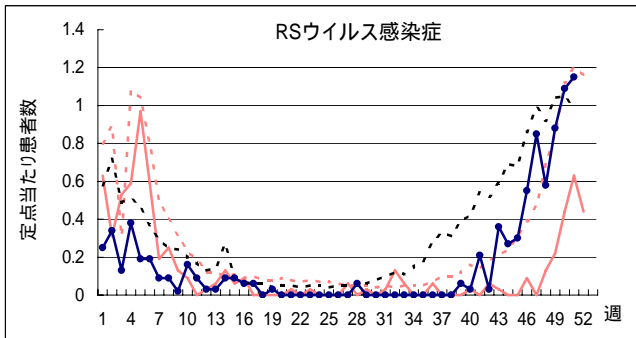
★ 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。  
★ 注意報発生基準値を超えています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第51週、H19.12.31～H20.12.21)

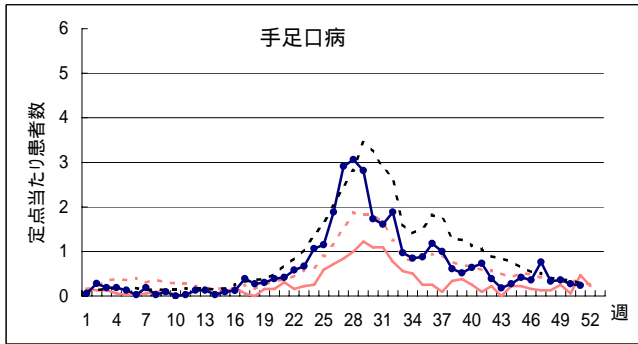


H19 { 滋賀 (solid red line)  
      全国 (dotted red line)

H20 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
      全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第51週、H19.12.31～H20.12.21)



H19 { 滋賀 ————  
       全国 .....  
 H20 { 滋賀 ●—●—  
       全国 .....

